

品名：**アラームセット**

品番：99170-00A0*

適合機種：UB125L M3-

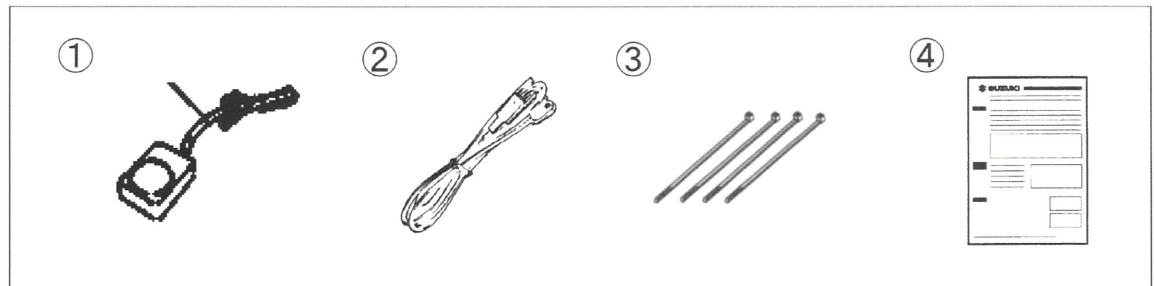
取付時間：0.5 H

スズキ純正用品をお買いあげいただきありがとうございます。

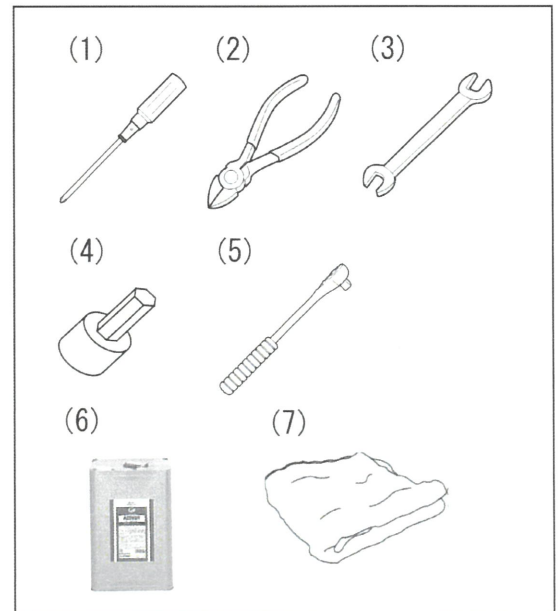
本書は用品の取付け方法及び取扱の方法を説明しています。取付けの前に必ずお読みいただき、正しく取り付けてください。取付後、本書を必ずお客様にお渡ししてください。

構成部品

No	品名	数量
①	アラームユニット	1
②	インジケータランプ	1
③	クランプ（予備を含む）	4
④	取付 / 取扱説明書（本書）	1

**必要工具**

No	必要工具
(1)	ドライバー (+)
(2)	ニッパー
(3)	スパナ (14mm)
(4)	六角ビットソケット (3, 5mm)
(5)	ラチェット
(6)	脱脂剤
(7)	ウエス



注意書き について

本書の中で使用されている記号 **⚠ 警告**、**⚠ 注意**、**注記**、**アドバイス** については、とくにしっかりお読みください。

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性がある危害の程度を示しています。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある危害の程度を示しています。

注記

取扱いを誤った場合、物的損害の発生する危害の程度を示しています。⇒ 

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを示しています。⇒ 

取り付けに 際しての 注意事項

⚠ 警告

- ・ お客様ご自身で取付ける場合は、ご自身の知識・技量の範囲で行ってください。難しいことはスズキ販売店にご相談ください。
- ・ 平坦な足場のしっかりした場所で、サイドスタンドを立ててください。
- ・ エンジン回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどが熱くなっています。このとき触れるとやけどを負うおそれがあります。
- ・ 取付けを行うときは火気を近づけないでください。

- ・ 取付けはエンジンを停止し、キーを抜いた状態で行ってください。
- ・ バッテリ⊖端子をバッテリーから外してください。
- ・ 適切な工具を使用してください。
- ・ 本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取付けた場合は、取付作業者の責任となります。
- ・ 適用機種以外には使用しないでください。適用機種以外に取付けられたものについては取付作業者の責任となります。

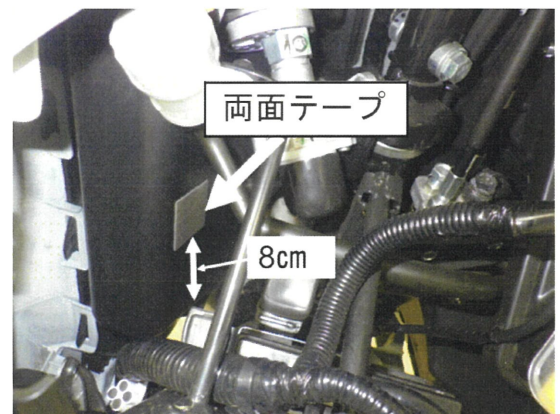


車両部品の脱着はUB125Lのサービスマニュアルを必ず参照し、正しく行って下さい。

取付方法

アラームユニットの取付け

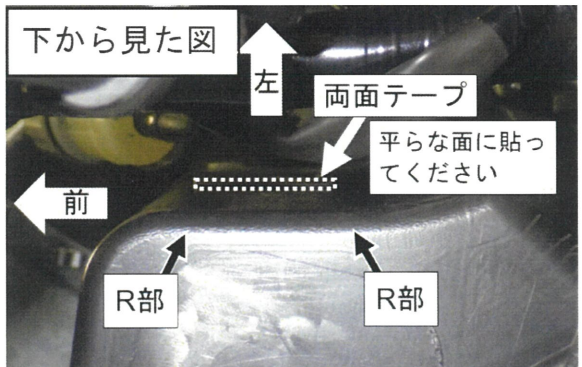
1. 左右ミラー、アッパーハンドルカバー、フロントハンドルカバー、フロントパネル、フロントレッグシールドを取り外します。
2. 写真のように、車両右側のレッグシールド内側に、アラームユニット用両面テープを貼り付けます



脱脂剤で接着面の油分、ホコリを除去してください。



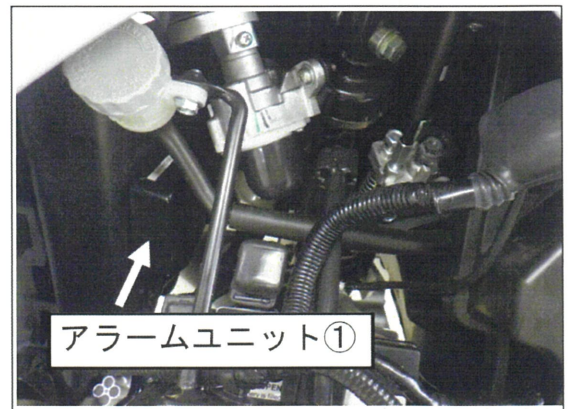
両面テープを車両に貼り付ける際は、貼り付け部のR部に掛からないよう平らな面に貼り付けてください。



3. アラームユニット①の配線部を下に向け、両面テープに貼り付けて強く押さえつけます。



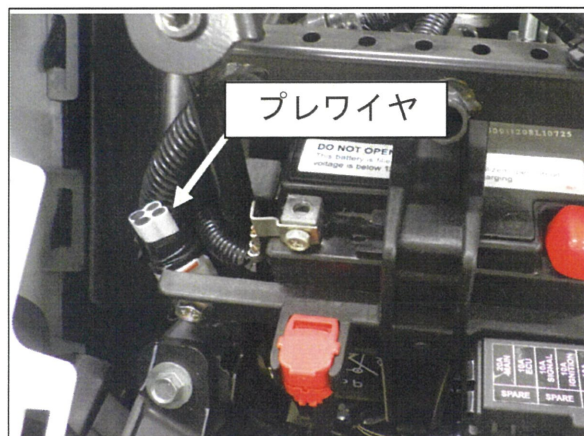
1度貼り付けた両面テープを剥がしての再使用は絶対にしないでください。剥離強度が極端に低下します。



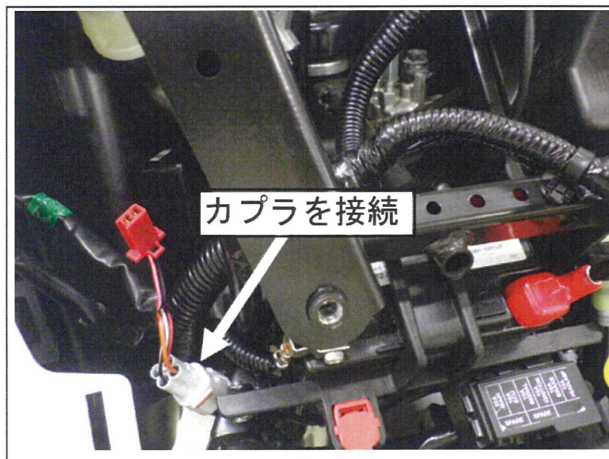
4. バッテリー右前に配置されているプレワイヤカプラのテープを外し、キャップを外します。



プレワイヤのキャップは再使用しません。

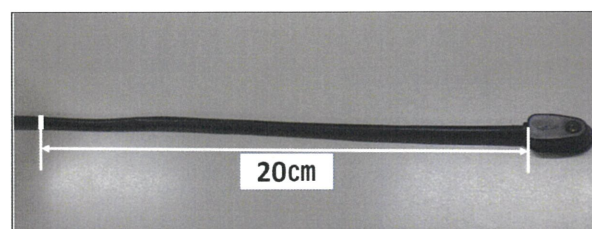


5. アラームユニット①の防水4極カプラとプレワイヤカプラを接続します。



インジケータランプの配策

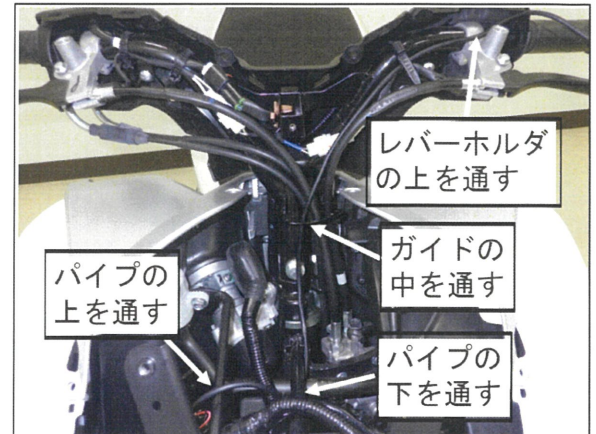
6. インジケータランプ②のランプ部付け根から20cmの位置にペンで印を付けます。



7. インジケータランプ②配線を左ハンドルの車両クランプに通し、手順6で印を付けた箇所固定します。

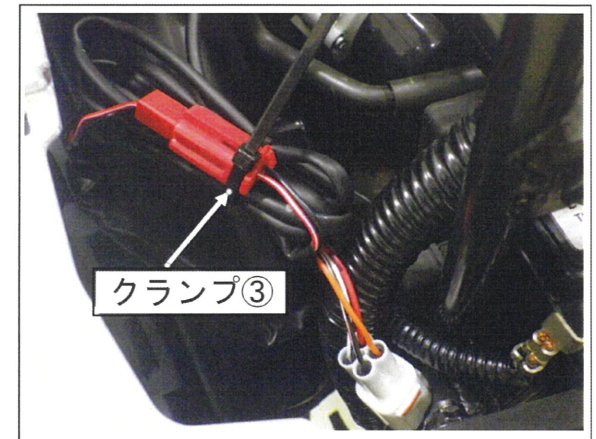


8. インジケータランプ②配線を写真のように配索します。



9. インジケータランプ②のカプラとアラームユニット①の2極カプラを接続します。

アラームユニット①配線とインジケータランプ②配線をクランプ③で束ねます。



10. 手順9で束ねた配線を、クランプ③で車両ハーネスに固定します。



⚠ 警告

- ・ 配線をすべて接続した後、ハンドルを左右に切り、配線の引っ掛かりやつっぱり、ハンドルの動きに異常がないか確認してください。
- ・ 配線やカプラが周辺の部品に干渉していないか確認してください。



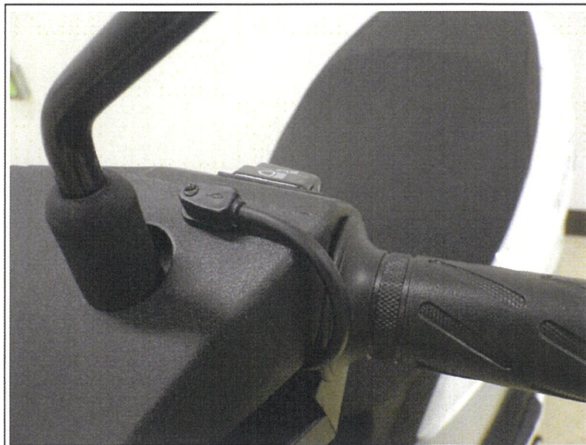
- ・ クランプ③の余分な部分をニッパー等で切断してください。



作業終了後、“システムのセット・解除”を参照し、アラームが正常に作動することを確認してください。

11. フロントハンドルカバーの左グリップ前スペースからインジケータランプ②を取り出し、フロントハンドルカバーを取り付けます。

写真のように、インジケータランプ②を両面テープでフロントハンドルカバーに取り付けます。



脱脂剤で接着面の油分、ホコリを除去してください。

12. 手順1で取り外した車両部品を元に戻します。



- 車両部品を元に戻す際、配線を挟み込まないように注意してください。
- インジケータランプ配線がブレーキレバーに接触しないように注意してください。

『アラームセット』 取扱説明書

このたびは、純正上記システムをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
 ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつもお手本において、正しい取扱い方法により、
 ながくご愛用くださるようお願い申し上げます。
 なお、取付ミスを避けるためにも、取付けは、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店で
 お願いいたします。

安全に関する表示

この取扱説明書は、使用に際して特に重要な事項を **⚠注意** および **👉アドバイス** のマークを用いて表示
 してあります。これらのマークにより表現された内容は、以下のような意味を持ちますので、特に注意し
 てください。

⚠注意	取付け、取扱方法を誤った、または守らなかった場合は、傷害を負う可能性 がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。
👉アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、および、知っておくと便利なこ とを示しています。

⚠注意

- (1) ご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みください。取扱を誤ると事故や故障の原因となります。
- (2) 高圧スチーム洗車をする場合は、インジケータランプに直接吹き付けないでください。
- (3) 高圧水の洗車時等は、ユニットの取付場所が樹脂物等の剛体部品の場合ではない場合は警報が作動
する場合がありますので、本システムをセットしない状態で洗車してください。

【このようにして・こんなとき、あなたの愛車を守ります】

- ◇車両を持ち去る ◇メインスイッチのコジ回し
 ◇駐停車中のイタズラ（ハンドルロックを壊そうとするまたは車両が倒れそうになった時）

【作動と機能】	作 動	効 果
セット予告機能	車両の軽度の揺れに対しては、セット中であることの予 告警報システム（2回）	セット中である認識がしやすく、誤作動または 盗難予告に効果がある。
セット待機時間 の選択機能	所定時間中のメインスイッチのON→OFF操作でシステム がセットされる時間が3段階に選択可能。	車両の使用条件によりユーザーが自由に選択可 能。
アラーム機能	・車両の揺れ、移動などをセンサーが検知したと きにサイレンが作動する。（5秒間で繰返し） ・キーの抜き忘れ防止とセット表示機能としての アラーム（3回）	車両を揺らす、移動するなどの盗難行為 に対して警報する。
作動表示機能	システムの作動状態をインジケータランプで表示する。	システムが作動中であることを表示し、車両に 対する盗難行為を抑止する。

【システムの作動状態とインジケータランプの表示】

作 動 状 態	インジケータランプの表示	
システムがセットされるまでの準備状態	点灯	
システムがセットされた状態	点滅（パッ、パッと連続点滅を3秒に1回）	
システムが解除された状態	消灯	

【操作方法】

1. アラームをセットする

- ① イグニッションスイッチをOFFにするとセット音が3回鳴り、キーの抜き忘れ防止を知らせ、60秒後に「ピッピッ」と2回鳴り、セットされたことを知らせます。
セット時はインジケータランプが60秒間点灯（準備段階）、その後点滅（3秒に1回）に変わりセットが完了します。
- ② 車両に少しの異常な動きがあった場合は、予告警告音が2回鳴ります。また、変位の大きな異常振動、異常な動きに対しては警報が作動します。

 アドバイス

ブレーキ操作後は、1秒以上経過後に本操作を行ってください。
(3. 項の“セットしない時”と区別するため。)

2. アラームを解除する

車両に乗る時は、通常通りイグニッションスイッチをONにするとシステムの解除音が3回「ピッピッピッ」となりアラーム機能は解除され、乗車が可能になります。

3. アラームをセットしない時

車両のリヤ（フロント）ブレーキレバー操作中にイグニッションスイッチをON→OFFの操作をするとシステムはセットされず、通常のOFFの状態となります。

4. 作動したアラームをキャンセルする

2. 項の解除の操作を行ってください。（解除音が3回鳴ります。）

 アドバイス

- ① 警報作動状態は5秒間連続で鳴り続け、再度警報状態に入ると繰り返し警報が作動します。
- ② 本システムはバッテリー保護のため15日間でセットが解除される機能が設定されています。

システム待機時間の選択

本システムは、システムがセットされるまでの時間をユーザーの好みに合わせて3段階の中から選択し、セットすることが可能です。

基本操作は、車両のイグニッションスイッチをON→OFFにする操作です。

取付け時待機時間（イグニッションスイッチON→OFF:セット時ランプ点灯60秒）（セット確認音3回）

- ① 上記60秒間点灯中にイグニッションスイッチON→OFFを2秒以内に操作します。
：待機時間は15秒にセットされます。（セット確認音1回）

- ② ①の15秒間点灯中にイグニッションスイッチON→OFFを2秒以内に操作します。
：待機時間は30秒にセットされます。（セット確認音2回）

上記操作を繰り返すと設定待機時間は元に戻ってセットされます。

- ③ ②の30秒間点灯中にイグニッションスイッチON→OFFを2秒以内に操作します。
（取付け時待機時間に戻ります。）
：待機時間は60秒にセットされます。（セット確認音3回）

但し、上記設定時間内に設定操作をしなかった場合は、待機時間は変更されません。

『待機時間設定後の通常使用時は、メインスイッチOFF時のセット音は3回です。』

アラーム警報音の種類の変更(5種類)

- 1) ブレーキレバーを握り、IGスイッチをOFF→ON→OFFし、アラームをセットしない状態にします。
（インジケータランプ消灯状態）
- 2) ブレーキレバーを握り、2秒以内に、IGスイッチのOFF→ON→OFFを3回以上繰り返します。
このとき、小さい音量で警報音が鳴り、警報音変更モードになったことをお知らせします。
- 3) さらに、2秒以内にIGスイッチのON⇔OFFを行うと、警報音が変わります。
（この操作を繰り返すことで、警報音がローテーションで代わり続けます。）
（警報音を小さい音量で鳴らすことで、どの音が選択されているかをお知らせします。）
- 4) お好みの警報音が決まりましたら、3) の操作をやめてください。
- 5) 通常のIGスイッチのON→OFFを行い、アラームがセットされたことを確認してください。

アラーム警報音の音量の変更(5段階)

- 1) アラームの警報音の変更直後、IGスイッチをOFF→ONし、2秒以内に、ブレーキのOFF→ONを行うと、ブレーキONの間、警報音が鳴ります。
- 2) さらに、2秒以内にブレーキのOFF⇔ONを行うと、警報音の大きさが変わります。
（この操作を繰り返すことで、警報音の大きさがローテーションで代わり続けます。）
- 3) お好みの警報音の大きさが決まりましたら、2) の操作をやめてください。